県建設業協会大根占支部総会

新支部長に福谷氏

福谷俊哉新支部長

県建設業協会大根占支部（桑原景治支部長）は27日、肝属郡大根占町の大根占建設会館で第40回通常総会を開き、「技術と経営に優れた企業」を目指して建設事業費の確保対策、会員の受注機会の確保対策、公共工事の入札・適正化対策等を柱とする新年度事業計画を決めるとともに、任期満了に伴う役員選挙では新支部長に福谷俊哉氏（㈱瀬戸山組）を選出した。

一致団結し乗り切ろう――と挨拶する桑原支部長
＝大根占町の大根占建設会館で

総会の冒頭で、桑原支部長は「昨年は、歳出改革路線が堅持され厳しい状況でしたが、ありがたいことに当支部としては平年並みに推移できました。鹿屋に土木事務所が統合されたことは寂しい気持ちですが、さらなる協力要請を推進してまいりました。市町村合併も予想され例年にも増して厳しい対応を迫られます。このような厳しい状況の中でわれわれ経営者は再度、経営の在り方をもう一度見直していく必要があるのではないでしょうか。今年度も引き続き労災防止を徹底し、会員同士それぞれ協力し、一致団結して乗り切っていきましょう」と挨拶。

議事では、15年度事業報告、16年度事業計画及び収支予算案等7議案と第43回通常総会を迎えた南隅建設業協同組合関係6議案を審議した結果、いずれも執行部原案通り可決承認した。

新役員は次の通り。

支部長＝福谷俊哉▽副支部長＝大村一裕（㈱大村工務店）▽理事＝東和朗（㈱百次建設）矢崎隆一（㈱矢崎組）岩元繁行（有）鳥浜建設）小梅枝賢一（㈱田代建設）▽監事＝森潤一郎（成武建設㈱）桑原克幸（㈱桑原組）

鹿児島市建築部設備課長に就任した 曲田 畜二氏

かお…人

環境に配慮した事業推進を

「地方分権が進む中で、できるだけコスト縮減に取り組んでいく。省資源・省エネルギーなど循環型社会の形成による環境に配慮した事業活動の推進に努めていきたい」と抱負を語る。また、「鹿児島市地域新エネルギービジョン」に基づき、「今年度は環境教育の一環として小中学校への太陽光発電装置設置など、事業推進に協力していきたい」。

昭和49年から旧鹿児島開発事業団で玉里団地やせばる団地、星ケ峯団地の造成整備に携わり、その後、昭和62年4月から建築課設備係で10年間、また、市立病院で電気主任技術者として、改修計画から工事監督、事務処理までを担当する。

「病院での3年間は総合的な業務ができたことで、私にとって貴重な経験となった。業務を遂行する上で非常に役立っている」と話す。平成12年に組織改革で設備課ができると同時に本庁に異動、設備課電気設備係長などを経て、現在に至る。

思い出は「8・6災害時、維新ふるさと館を担当しており、主要機器の搬入1週間後の出来事だった。全てが浸水し、復旧作業に携わったことは今でも強烈に心に残ってますね」と振り返る。

好きな言葉は「温故知新」。趣味は中学時代からなぜか英語が好きで、今でも時間があれば英会話を勉強中だとか。

「海外旅行に行くことが夢ですね」。鹿児島市皇徳寺に妙子夫人、一男一女と4人暮らし。姶良郡加治木町出身の55歳。

（原口省造・報道部総括主任）

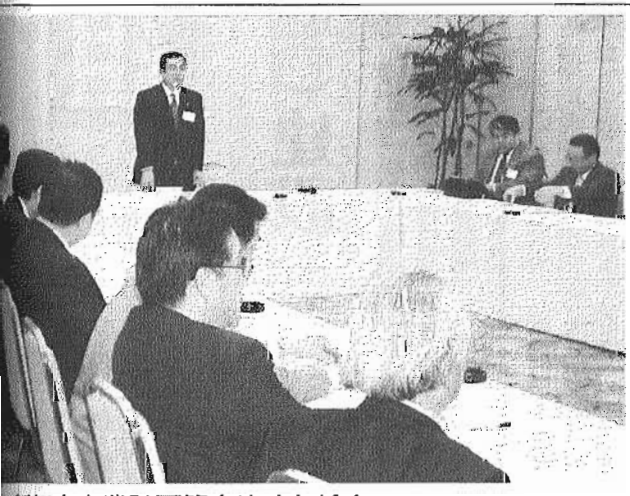
県建設業協会肝属支部総会

原口支部長再選 公共事業拡大に努力

受注機会の確保対策等を決めた総会
＝鹿屋市のホテルさつき苑で

県建設業協会肝属支部（原口優支部長）は27日、鹿屋市のホテルさつき苑で第40回通常総会を開き、建設事業の予算確保や受注機会確保対策などを柱とする新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では原口支部長（㈱原口組・鹿屋）を再選した。

総会では初めに、原口支部長が「昨年は、未だかつてない受注競争の厳しい1年だった。デフレ状況を乗り切るため、今年度も特に景気対策として経済効果の大きい公共事業にウエートを置いた国の大型補正予算の早期・年内編成を上部団体等を通じて強く要望してまいります。建設投資が縮小される、さらに会員企業の経営環境は厳しくなることから、あらゆる機会に公共事業拡大や会員の優先指名受注に努めるとともに、会員一致団結して地域社会の正しい理解と信頼が得られるよう努力していきましょう」と挨拶。


新年度事業計画等を決めた総会
＝鹿児島市のパレスイン鹿児島で

引き続き、議長に米倉正之氏（㈱米倉建設・鹿屋）を選出し、議事に入り、15年度事業並びに決算報告、16年度事業計画・収支予算案などを審議、全会一致で可決承認した。また、役員改選では原口支部長の続投を決めたほか、理事1人、監事1人を改選した。

新役員は次の通り（㊨は新任）。

支部長＝原口優▽副支部長＝木佐貫大史（山佐産業㈱・高山）久木田徳二（㈱久木田組・鹿屋）谷口幸司（肝付土建㈱・吾平）▽理事＝松下重夫（㈱松重建設・鹿屋）鶴田親（㈱鶴田組・垂水）米倉正之　西元勇（㈱吉留組・東串良）㊨八木良平（㈱八木建設・鹿屋）栄倉忍（有）栄倉組・内之浦）下小野田隆（国基建設㈱・串良）▽監事＝㊨中鳥豊（㈱中鳥組・鹿屋）渡口重則（㈱村田組・高山）

パリ・鹿児島 壁画デザイン交流展

高校生がアート交流

県住宅供給公社

県住宅供給公社（牛之濱道久理事長）は27日、日置郡松元町の松陽高等学校で「パリ・鹿児島壁画デザイン交流展」オープニングセレモニーを開いた。

この交流展は、同公社が開発した「ガーデンヒルズ松陽台」の造成で発生した石で構築した石積擁壁を、自然味豊かで住民に親しまれる景観形成に生かしたいという発想がきっかけ。実施にあたっては、団地に隣接し、県内唯一の美術科がある松陽高等学校と、その交流校であるパリ・グランショミエール美術学校の各生徒の協力で計32作品の原画を採用。アート交流をさらに深めるとともに、団地の魅力アップを図るため、ユニークな景観要素となっている石垣の要所に「花」や「ウサギ」、「カエル」などの動植物をテーマにしたデザインの壁画を設置した。

同校ギャラリーには、壁画の完成にあたって両校から提供されたデザイン原画を併せて展示。広く県民に披露し、鹿児島とパリの国際交流がさらに深まることを目指して開催された。同公社の牛之濱理事長は「先生や生徒、数多くの皆様に協力いただきとても感謝しています。今後、さらに国際交流が深まっていくことを願います」と語った。

交流展は、5月6日まで開催。原画については、鹿児島市の公社ビルギャラリーでも5月8日から20日まで展示される予定。

関係者によるテープカット＝松元町の松陽高等学校で

県集落排水工業会総会

20周年事業の開催等

県集落排水工業会（古江昭人会長）は27日、鹿児島市のパレスイン鹿児島で第20回通常総会を開き、集落排水事業の啓蒙活動や技術向上、20周年記念事業の開催等を柱とする新年度事業計画を決めた。

総会では、初めに古江会長が「集落排水事業は、受注量も減少の一途をたどっている。今こそ、集落排水事業の必要性をPRするような活動を展開していかねばならない。設立20周年に当たり、記念イベントの開催等も視野に入れ、さらなる技術向上や啓蒙活動に努めていきたい」と挨拶。

（南海建設㈱）を議長に選出し議事に入り、15年度事業報告・収支決算、16年度事業計画・収支予算案などを審議、全て原案通り可決承認したほか、新規会員として山下㊨建設㈱（鹿児島市）の入会を決定した。

新年度事業計画は、集落排水事業の啓蒙・普及及び促進、集落排水施設の技術的向上、市町村への陳情活動、20周年記念事業の開催等。